



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第220号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

気軽に交流を楽しむクラブ

2013～14年度 テーマ ー優れた運営の仕組みを継承し、会員活動をより楽しくしようー

第 220 回例会

日 時:平成 26 年 2 月 13 日 (木) 12:30～14:30

場 所:エルシイ八王子

出席者:65 名、出席率 91.5%

(会員総数 71 名 休会 0 名)

戸田例会委員長による資料確認後例会開始。

1 挨拶 荒会長

皆様、こんにちは。

2 月 3 日開催の「第 3 回関東ブロック交流会」には、全員参加でのご協力、有難うございました。

お陰様で、東京八王子プロバスクラブは「輪をひろげて」の合言葉の下、立川富美代全日本プロバスクラブ会長代行を中心に、立派にかくも盛大な又楽しい会のホストクラブの役割を果たすことが出来ました。

考えてみますと、数年に 1 度開催されるブロック交流会が次に八王子に廻って来るのは何時でしょうか。もしかすると、自分が退会したずっと後になるのかもしれませんが。

などなど思いをめぐらしますと、私たちは一生に一度の、またとない幸運な機会に恵まれたのだと思いました。

次に第 18 回生涯学習サロンが 2 月 27 日より開催されます。このサロンも、当クラブを特徴づける最大かつ大切な事業です。しかも、「話し手」は会員各位にお願いしております。そのため、サロンを継続するには「話し手」各位がそれぞれ継続して、ご自分のテーマを研究し続けて頂く必要があります。

会員になられたばかりの方も、今回のアットホームなサロンを受講して、次回からは講師として是非参加し、サロンをさらに発展させて頂くことが期待されています。宜しくお願い致します。

2 ハッピーコイン披露

土井俊玄副会長からハッピーコイン (後掲) の披露があった。

3 講師のご紹介

本日卓話を行っていただく八王子市都市戦略部自治推進課次長の立花等様が紹介された。

4 新入会員のご紹介

杉山友一会員から会員番号 133 磯洋一会員及び会員番号 134 鈴木はるみ会員が紹介された。

磯会員は一級建築士、八王子市 OB でまちづくり公社理事等を歴任、地域のボランティア活動にも尽力されている。

一方、鈴木会員は現在セントベルインターナショナル幼稚園副園長として園児たちの成長に係る総括業務に携わっておられる。

両人より自己紹介と抱負等が述べられた。



磯 洋一会員



鈴木 はるみ会員

5 パースデーカード贈呈



荒会長より2月生まれの会員、石田文彦、鈴木弘昭、根本洋子、鈴木はるみ（左から・敬称略）の4会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈呈された。

6 卓話「中核市八王子をめざして」

立花 等氏



八王子市都市戦略部自治推進課次長の立花等様より市の中核市への移行及び平成26年度予算の概要について説明がありました。

八王子市をさらに魅力あふれるまちにするための取り組みである中核市移行については平成25年9月の市議会において可決し、同12月に東京都の同意を得ました。

今後は総務大臣に指定の申し出を行い政令公布されることで、平成27年4月に「中核市八王子」が誕生します。

中核市へ移行すると多くの事務権限が都から委譲され、きめ細かな市民サービスの提供が可能になります。

例えば保健所などの児童福祉施設や特別養護老人ホームなど施設の運営・基準について市が定めることが出来るようになります。

新たに制定する条例をはじめとした基準作りには多くの市民の皆様に参加していただきたいというお話がありました。

平成26年度の予算案については中心市街地の活性化、また各事業者への事業支援について詳細な説明がなされました。

お話の後に以下の3点について質疑応答がありました。

Q: 中核市に対してその周辺部の都市に対する考えはどうか。

A: 多摩地域全体の都市間の連携を考えながらこれから過疎化する地域等も考慮し、例えば保健所、ごみ処理場、卸売市場その他に関しても八王子市が中心となって広域的に行政を行いたいと思っている。

Q: 中核市になるに当たって人や予算の手当てはどうか。

A: 人については既に終了した事業等からの振替を含めて確保済。

また予算においては都からの補助金は削減となるが国からの地方交付金によって予算が賄われることになる。

Q: 中核市ではなく政令指定都市としての議論はなかったのか。

A: 現在、政令指定都市は実体上人口70万人以上の都市となっている。

市としては近隣都市との合併を想定していない為不可能である。

7 幹事報告 馬場幹事

(1) 地域奉仕委員会関係事項

生涯学習サロン開講式(2月27日)の式次第(案)が紹介された。

なおサロン当日の各委員会への協力依頼内容は、1月理事会に提出されていますので対応方よろしくお願ひします。

(2) 竹内副幹事関係事項

- 1月11日に2監査役(山崎修司会員、市川昌平会員)による2013年7月~12月までの会計監査を受けた。良好との結果であった。
- 2月3日に開催された全日本プロバス協議会・第3回関東ブロック交流会に関し、直前キャンセル(9名)により生じた不足費用及び情報委員会担当のレポート(本日配布)作成費用の補填について議論し、予備費からの支出を決定した。

- 5月の健康フェスタ(副幹事が担当)の会場担当者派遣依頼について、5委員会に加えて「宇宙の学校」プロジェクトにもお願ひする基本案が説明された。詳細は4月理事会までに決める予定。

(3) 会員委員会関係事項

浅川理事から、「準会員制度」について提案があった。本件は、当クラブへのインパクトが種々ありうるので、会員委員会で詰めて頂くことにしました。

(4) 新しい同好会（カラオケ同好会）の提案があり、承認されました。

なお、会からの同好会への補助金は半期分（2,500円）となります。

(5) 例会委員会からの要請です。例会欠席連絡が遅い例が目立ちます。欠席時は所属の委員長を通じて遅くとも前々日までに連絡をお願いします。

8 委員会活動報告

(1) 例会委員会 戸田委員長

退会者が2名出ましたが新たに2名加わったことで会員総数は71名です。本日は欠席者が6名、出席率は91.5%となっています。

なお止む無く欠席の場合、前々日までに連絡いただきたい。

(2) 情報委員会 田中委員長

・「プロバスだより第219号」を発行しました。今回の編集は寺田情報副委員長によるものです。

・去る2月3日に行われた全日本プロバス協議会第3回関東ブロック交流会の実施報告書を大急ぎで作成しました。取りあえずは八王子プロバス会員に向けた報告書としていますがコメント等あれば至急連絡願いたい。しかるべき時期に立川会長代行の礼状とともに必要な所へ発送する予定。

・生涯学習サロンが始まりますが記録を作成することになっています。話し手の方々にはその内容について1週間後位を目途に原稿のとりまとめをよろしくお願いします。

(3) 研修委員会 河合委員長

本日は市からまちづくりについてお話をいただいた。今後とも検討していきたい。

(4) 地域奉仕委員会 内山委員長

2月27日から5月8日まで生涯学習サロンを開催します。参加状況については一般会員が96名、PC会員を加えると157名が予定されており昨年と比べて若干少ない参加者となっている。

長い期間に亘るので是非とも皆様の協力をお願いしたい。

(5) 立川会員

(全日本プロバス協議会会長代行)

2月3日に開催された関東ブロック交流会では荒会長始め130名弱の参加をいただき楽しい交流が出来ました。特に受付では大変混雑しましたが女性陣の活躍に感謝。また下田会員のバナナのたき売りは大変喜んでもらえました。

多くの皆様のご協力のお陰であり、厚くお礼申し上げます。

(6) 浅川交流担当理事

多勢の参加者があったことに感謝したい。プロバスの輪が広がったものと思う。今後ともよろしく願いたい。

(7) 宇宙の学校 下山運営本部長

本日八王子宇宙の学校、平成25年度レポートを配布いたしました。前会長、吉田会員により取りまとめられたものです。

今年度の活動は終了となりますが次年度も7月開講11月までの日程で予定しています。本年度の2会場（本部、八王子北高校）に加え東京工科大学が名乗りを上げてくれた為、3会場での実施となります。

次年度も皆様方の協力をよろしく願いたい。

9 同好会活動報告

歴史 土井俊雄会員

3月22日に東京都の歴史散歩を行います。今回はバスを使用せず電車にて移動することにしています。配布の案内を参照して下さい。

10 その他 杉山会員

10番目の同好会としてカラオケ同好会が承認され以下の通り発足することとなりました。文字通り出入り自由な同好会です。皆様ふるってご参加下さい。

名称： 東京八王子プロバスクラブ
カラオケ同好会

活動目的： カラオケ文化を通じて、日常のリフレッシュを図り明るく元気で和気藹藹のシニアライフを目指します。

例会： 原則毎月1回、最終木曜日

会場： 歌カフェ スイングロード
年会費： 1,000 円
例会費： 2,000 円
世話役： 顧問（浅川文夫）代表（杉山友一）
副代表（宮城安子）事務局（高取和郎）

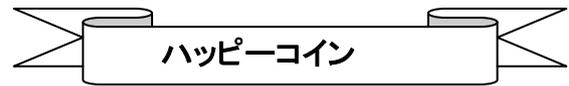
11 プロバスソング斉唱



12 閉会の挨拶 土井俊玄副会長

過日、矢崎、阿部会員が退会され寂しい思いをしていましたが、今日新たに鈴木、磯の両会員が入会されました。私たちの平均年齢を下げるとともに若い力や知能が私たちのクラブを益々活性化させてくれるものと期待しています。

この会で活躍していると認知症になりにくいと言う話がありましたが、体を動かし、頭を使うといった事を心がけることが良いのかも知れません。歴史の会で歩くと言う話もありましたが日頃歩きが不足している人は参加していただければと思います。本日は市役所から中核市の話もありました。何かたちまちバラ色になるのかと期待してしまいましたが、その一方で周辺の都市からは立ち遅れた感があります。今回の中核市に向けた動きを機に徒労に終わることなく活性化されていくことを期待しています。



◆八王子に在住して10年経ちました。この4月4日に、いちょうホールで演奏会を開かせて頂くことになりました。皆様のご支援に感謝しております。 山形 忠顕

◆2月3日の全日本プロバス協議会関東ブロック交流会には大勢ご参加頂き又ご協力を頂き有難うございました。成功裏に終わりました、感謝申し上げます。 関東ブロック交流会
実行委員会一同

◆みんなで楽しい輪を大きく広げました。ありがとうございました。 浅川 文夫

◆本日お二人の新入会員のご紹介をします。皆様どうぞ宜しくお願い致します。 杉山 友一

◆オリンピックゴールドメダリスト、国民栄誉賞吉田沙保里さんのオリンピック試合用ユニフォームを本人からゲットしました。現物をご希望の方にご披露します。 橋本 晴重郎

◆シニアダンディーズが議場コンサートに出演し、八王子広報に写真が出ました。(2月15日号) 増々ががんばって地域社会に奉仕します。

立川 富美代

◆例年、誕生月に精密健康診断。今年も健康確認万歳。 下山 邦夫

◆来週より上海に行って来ますがサロンに間に合うように帰ってきます。 野口 浩平



八王子の美術館めぐり

富士美術館『印象派展』 宮崎 浩平

年の瀬も迫った12月25日(火)、第2回の八王子



子の美術館めぐりを行った。

前回の第1回の美術館めぐりは、田中美術館で近代日本画家の作品を鑑賞し、村内美術館でバルビゾン派の風景画を堪能した。今回の美術鑑賞会は以前より東京富士美術館の鑑賞を予定していたが、

時期的に年末の多忙期に重なり迷っていた。しか

し『印象派展』の評判が非常によく、また、来春1月20日に終わると期限が迫っていることでもあり、急きょ年内に行くことに決った。

東京富士美術館の展示会は、世界の有名美術館から印象派の名画が集結し、『光の賛歌印象派展』の名称で、当館の開館30周年記念の特別企画による展示会である。

モネ26点、ルノワール2点、シスレー16点、ピサロ8点など、世界8カ国40の美術館から、印象派の画家の代表作や質の高い作品を多数借用することが出来た。特に今般の展示品の中、ボストン美術館からルノワールの名作「ブーヅヴァルのダンス」が出品されているのが目玉であるが、この展示会は単なる名画展にはとどまらず、印象派の画家が好んで描いた水辺の風景がテーマとなっており、セーヌ川からノルマンディーの海岸の自然の作品が多く出品されている。

19世紀後半は水辺が、生活に潤いをもたらす余暇を過ごす場所としてクローズアップされた時代であった。都市部の近代化にともない、市民のあいだに休日のレジャーが普及すると、パリ近郊のセーヌ川沿いの町や村が身近な行楽地として市民の活動の場所になり、さらに鉄道網の発達により余暇を楽しむ人々の目は、美しい海水浴場や切り立った断崖、賑わいを見せる港など数多くの魅力的な場所としてノルマンディー海岸にも向けられた。本展では、セーヌやノルマンディーの「水辺」を舞台に描かれた約80点の作品が「光の中の風景」を追い求めている。

今回、日本ではめったに見ることの出来ない印象派の魅力的で素晴らしい作品の数々を味わったような気がする。

最後に、今回の東京富士美術館の美術鑑賞会に色々ご便宜を頂戴いたしました田中寿先生(元東京富士美術館々長、前プロバス会員)に厚く感謝申し上げます。



私とラグビー

寺田 昌章



私とラグビーの関係は、実にひょんなことから始まった。やっと大学に入学し、この4年間は遊学の時だと考え、勉強は落第しない程度にとどめて、パチンコやマージャン、飲み会にデートにと明け暮れていた大学2年の時、大学入学前から顔見知りで、クラスが同じだった男から、大学の学部内にラグビーの同好会を作ろうと思うので、協力してくれないかと打診をされた。

話を聞いてみると、大学の中には正式な体育会系のラグビー部の他に、全学部対象の同好会はあるが、私たちの所属する理工学部では、実験等絶対に本人が出席しなければならない科目があり、日程的に参加は難しいので、学部内に新設したいとの事であった。

丁度私自身内向的性格で、外部に何かを働きかけるのが不得意だったので、性格・性質は変えられないが、行動・態度は変えられると考え挑戦してみることにした。そこでラグビーの経験はないが、マネージャーなら引き受けても良いと返事をしたことからラグビーとの付き合いが始まった。

マネージャーの仕事は思っていたより大変で、学部内で同好会を新設する趣意書作成、部員募集等に加え、学部教授を同好会の監督に迎えるための取り組みでは、当時ラグビー部の顧問であった故大西鉄之助先生(近代ラグビーの父と云われている)を訪ね、推薦をお願いした事や、学部承認を得るための取り組み、練習場の確保、練習試合をしてくれる相手探し(最初は殆ど門前払い)、合宿場所の選定等の他、部員へのキックやパスワーク等の練習台、ルール勉強等、実技にも関わらなければならなくなった。

練習試合はいつも大負けで、何が問題か、どうすればよいかを聞かれ評論家にもなった。そうこうするうちに大西先生から、理工系のリーグ戦があるので参加したらどうかと云われ、渋谷にある岸体育館に通い、参加要請を重ねやっと許可が下りたのは3年生の時だった。練習試合での初勝利は東大の同好会ライトブルーであったが、その後

もなかなか勝てなかった。しかし経験者が徐々に入ってくると強くなっていったが、部員数がいつもぎりぎり、試合の当日予定しているメンバーが確実に来るかどうかを確認することが重要だった。時には予定したメンバーが来ないので、15人に満たずに開始したこともあった。

理工系リーグで初優勝したのは、私が卒業してから3年後、同好会設立から7年目であった。ラグビーに関わって大変だったのは、マネージャーの大役を卒業するまで3年間続けた事(私の相棒も主将を継続)と、いつまでたっても上級生で(当初上級生は数人いたが意見が合わず退部)、部下の面倒を見るためいつも金欠病だった。部費を稼ぐためにダンスパーティーを企画し、稼いだ金の殆どをみんなで慰労会をして使ってしまったこともあった。

内向的だった自分がマネージャーをしたことで、少し変わったのではないかという事が最大の収穫だった。又常に最上級生であったので、在学中は勿論、卒業後のOB会や飲み会等の各種催しで、いつも一期生として丁重に扱われてきた事が今でも続いている。

40歳頃の時に、OB戦で頼まれてレフリーをしたことがあったが、常にボールの近くにいななければならないレフリーは予想以上に大変で、疲労困憊して前半だけで交代してもらったこともあった。それに懲りて以降、専ら毎年行われる高校ラグビーや大学ラグビー等の観戦を楽しんでいる。

俳句同好会便り 河合 和郎

私の一句～2月の句会から

今月も高点句、秀句、佳句、話題句が続出。活発な鑑賞と相まって賑やかな句会でした。

恋ひ初めし我な覚ましそ春の風 山形 忠顕

万葉調の一句。「春風よ私の恋を邪魔しないで」と詠う。ゲーテの作品がヒントとか。

晴天や土蘇る寒起こし 石田 文彦

2人が特選に。冬の厳しい作業が収穫の喜びに結びつく。「寒起こし」は冬耕の意。

大根を炊ひて大地の甘さかな 池田ときえ

今日の最高点句。6人が選ぶ。「大地の甘さ」がよかった。寒い季節は「風呂吹」が何より。

吠える風舟も春待つ漁師町 立川富美代

2人が特選に。いい景を詠んでいる。旅先の見聞を力強く佳句に。素晴らしい。

いざジャンプ光る雪すじ遠き尾根 田中 信昭

時の話題。沙羅さんは4位で惜しかった。期待が重荷になったのでは。4年後は伸び伸びと。

病める友まだ遠かりし春の風 飯田富美子

病む友を心遣う作者の気持ちが伝わってくる。一日も早く温かい便りが届くことを願って。

妻臥してレシピ片手の小正月 東山 榮

台所に立つ作者の優しげな姿が微笑ましい。一日も早いご快癒を。秀句。

ゆるやかに光り寄せ来る春の海 阿部 治子

ゆったりとした春の海がまぶしい。まさに「春の海終日のたりのたりかな」(蕪村)の世界。

春めきて池面に鯉の餌をねだる 吉田 信夫

季節の移ろいを鯉の動きで感じ取る作者。俳句心は思いのほか繊細なもの。

飲み放題歳も忘れて新年会 馬場 征彦

「男は幾つになっても……」の声あり。もう若くはないのです。御身大切に。

購ひし七草刻み粥の朝 渋谷 文雄

昔は七草も家の周りで揃えられた。今はお店で買う時代に。そんな日常を一句に。

指先になぞる白鳥冬銀河 河合 和郎

冬の空は澄んでいて星がとてもきれいに見える。白鳥(座)は北西の天空に光っていた。

編集後記

初めてのプロバスだよりの編集作業で久しぶりに緊張した時を過ごしました。

今日は何度か認知症の話が出てきましたがボケ防止にこうした適度な緊張感はまさに良薬かも知れません。かなり苦い味がしますが。



山口 三郎